

韓国 軍浦市（くんぼし）の紹介

（小山篤理事長記）

＜軍浦市との交流＞

厚木市と韓国 軍浦市とは、2005年（平成17年2月）に友好都市を締結、ゲートボール、バドミントンなどスポーツ交流を通し、絆を深めてきており、今年で締結9年目を迎えました。

軍浦市は、首都ソウルから南に約23キロに位置し、東にモラックサン、西に修理山、南に五峰山を望むことのできる自然環境の豊かな都市です（下の写真）。交通網が整備されており、首都圏の中核都市として急速に成長、人口28万人、文化・産業・交通の要衝地として脚光を浴びています。ちなみにアイススケートのキム・ヨナ選手はこの出身です。



しゅりさん
修理山と軍浦市の発展した街並み

＜剣道での交流＞

厚木剣道連盟との交流は、軍浦市剣道協会の申し出により、厚木剣道連盟の受入から始まりました。軍浦市一行15人は、平成21年1月に厚木市を訪問されました。

訪問期間中、交流稽古を行い、親交を深めました。一行から、「是非、厚木剣道連盟と今後も剣道交流を深めたいので、韓国を訪問してほしい」との要請があり、翌平成22年10月に厚木剣道連盟の希望者38人で訪問し、交流稽古や試合の他、市長表敬訪問や公共施設を見学。市役所には“with book”のスローガンが大きく掲げられ、図書館が24時間オープンである事、英語教育に力を入れているなど参加者から驚きの声が上がりました。韓国訪問が初めての方が大半でしたが、軍浦市の皆様の温かいおもてなしを受け、満足して帰国しました。

一時期震災で交流が伸びていましたが、平成24年10月に2回目の韓国訪問団35人が厚木を訪れ、厚木市剣道選手権大会に参加するなど交流を深めました（下の写真）。



更に、翌平成25年10月に厚木剣道連盟一行24人が2回目の韓国を訪問、更なる交流を深めました(下の写真)。

それぞれの交流を通じて、お互いの文化や土地、人を知り会い、より親近感を持つようになりました。交流のたびに10数年来の友人のような関係になったのは喜ばしい事です。



<韓国の剣道>

韓国は、剣道がとても盛んで、剣道人口は、日本（日本は120万人）に次いで60万人とされています。世界選手権では毎回日本と決勝で当たる強豪国です（2005年世界大会(台北開催)では優勝）。

軍浦市の剣道をしている方々は、若い方々が多く、軍浦市内には、4つも剣道場があります。今回は韓国から8人が来日されますが、5人が道場の経営者です。少年少女の育成に大変熱心で、剣道に対して真摯に取り組まれています。

首都ソウルからも今回2名がいらっしゃいますが、韓国ソニー在籍のキム氏は厚木出張のたびに防具を担いで来られ、各道場で汗を流されます。ジン氏はキム氏の通われる道場主で、各地方の大会で優勝されている強豪選手でもあります。